

勾配天井の開放的なリビング。無垢のフローリングが心地よい。



外装は全て、木酢液に漬け込んだ道産カラ松の板貼りで。



北海道の木と自然素材で作る
無添加の家



広タシクのシンプルな洗面台。 青森ヒバが香る木のお風呂。



障子を通して寝室に柔らかな光を取り込む。



大胆な木組みの梁は道産カラ松の無垢材。



天板と取っ手のブラウンをアクセントにしたオーダーキッチン。

有限会社バイオプラス西條デザイン

本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139
www.saijo-d.com

◎「ECOさんが帰る場所」連載開始(P34~P35)

11 資料請求番号
くわしい企業情報はp.152の
ビルダーINDEXをご覧ください。

元の古新聞をリサイクルしたセルロースファイバー、さらに建築廃木材を再利用した木質繊維のボード状断熱材を外側にプラスし、太陽光を取り込む南面の大きな木製窓は三層ガラス仕様。他の窓を極力小さくして熱損失を抑え、高い断熱・気密性を実現した。塗り壁と寝室の和紙壁紙は、オーナー家が家作りに参加したセルフィルドの自信作だ。手渡し和紙の柔らかな質感は見た目にも珪藻土と相性がよく、薬剤処理をしていないので安心。もちろん化学樹脂無添加の天然糊で施工している。ユーティリティにつかったコルクタイルの床とほたて漆喰の塗り壁は、どちらも耐水性・抗菌性を備えた水廻りに最適な自然素材で仕上げている。

地域の木材を積極的に使い、化学物質を最小限に抑えた健康な住まいは、いつか取り壊されるときも地球への負担を最小限にできる。オーナー自ら実際に触れて厳選した素材は、家族と地球に長く愛されるやさしい住まいになりました。

小さなお子さんをもつオーナーの希望は、道産素材・自然素材の健康な家。私たち自身の肌を第一の皮膚、第二の皮膚を服とすると、第三の皮膚ともいわれる「住まい」。特にお子さんのアトピーを心配されていたご夫婦は、あやしげな化学物質や接着剤で貼り合わせた建材を使わない住まいを求めて、バイオプラス西條デザインのモデルハウスを訪れた。

一般的な新材材の住宅では、ドラム缶で1本以上もの接着剤を使用しているという。バイオプラス西條デザインは化学物質を含んだ接着剤をできるかぎり減らしていくことに真剣に向き合い、内外装はもちろん、見えない内部の構造材まで防腐剤や合板類をつかわない家を提案し続けている。打合せの際にも、北海道の木と自然素材で建てられたこだわりのモデルハウスへ、夫婦で積極的に足を運んだ。

S邸でも使用した木材のほとんどが道産の無垢材。亜麻仁油をベースとする国産自然塗料でナチュラルに塗装し、フローリングはさらにミツロウワックスで仕上げられている。水廻りでは素材の特性をいかして使い分け、自慢のアイランド型キッチンの天板はナラ材、浴室には防腐性の高いヒバ材を採用している。

断熱材にも木質の素材を選んでいる。地

札幌市 S邸

工法
木造在来工法

標準工期
120日

プラン
フリープラン

写真◎GINO PHOTO WORKS